

平成19年度の鳥取県立博物館

1 総 論

開館以来35年目を迎える節目の年に、国内でもなかなか見ることのできない16世紀から18世紀までの貴重な油彩画を展示した企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」を開催するとともに、中国河北省博物館との友好交流館協定を締結して10年目になることを記念し、両館が協力して河北省内にある「万里の長城」を写真で紹介する交流展「万里の長城写真展」を開催した。

また、県が新たな財源確保のために取り組む広告事業の第1号として、企画展「挑戦者たち」を対象に企業の特別協賛を受けた。

一方、老朽化による故障が懸念されていた空調設備のうち、故障による対外的な影響が特に大きいものについて、12月末から全館を2ヶ月あまり休館とした上で改修整備を行った。

(1) 組織

鳥取藩主池田家文書のデジタル化を加速し、インターネットによる資料公開を進めるため、臨時的任用職員を1名新たに配置した。

なお、配置にあたっては障害者の就業支援の一環にもなるよう配慮した。

(2) 資料の収集・調査研究

昆虫標本コレクション、旧鳥取藩士野田家資料など数千点から百数十点に及ぶ大量資料群や、郷土出身の作家が描いた日本画数十点など貴重な資料の寄贈を受けた。

また、学芸員はそれぞれの研究テーマに沿った研究調査を継続し、その成果を各種展示や普及事業及び刊行物等を通じて県民へ還元した。

さらに、地域文化を見つめなおす材料とするため、平成15～17年度に調査した県内の祭り・行事約2千件をデータベース化し県民へ公開した。

(3) 展示

企画展6回（自然系1回、人文系1回、美術系4回）と交流展1回を開催し、約9万人の入館者があった。中でも夏休み期間中に開催した自然系企画展「挑戦者たち」は約1万2千人の入館者があった。

また、開館35年を記念して開催した美術系企画展「ヴェネツィア絵画のきらめき」には幅広い年齢層の入館者があり目標入館者数を上回った。とりわけ学生入館者数が多くこれまでの企画展と比べても上位であった。

さらに、河北省博物館との友好交流館協定締結10年目を記念して開催した交流展「万里の長城写真展」は県下2会場を巡回し各地で好評であった。

なお、今年度から入館料の扱いを変更し、企画展開催中は企画展の入館料のみで常設展示も観覧可能とした。

このほか、山陰海岸学習館では水槽をはじめとする施設展示をリニューアルすることとし、今年度から来館者ニーズの高かった生態展示が可能な水槽の製作に着手した。

(4) 教育普及

県民の生涯学習を支援するため、地域や学校と連携した普及活動を行った。

巡回展、移動博物館、出張美術教室は県下24会場で、普及講座や講演会は年間86回にわたってそれぞれの会場等で開催し、延べ4万1千人あまりの参加があった。

(5) 来館者サービス

博物館の魅力向上のため、ミュージアムグッズの展示・販売コーナーを充実するとともに、ミュージアムショップを運営する「鳥取県立博物館資料刊行会」に専任職員配置に要する経費を助成し、民工芸品も取り扱うこととした。

また、館内のガイダンスやサイン類のデザイン、色調などを統一感のあるものとし、来館者にとって親しみやすく、わかりやすいものとした。

2 各課の概況

(1) 総務課

- ・空調設備改修工事実施（3カ年）1年目
- ・上記工事のため長期休館を実施（平成19年12月29日～平成20年3月7日）
- ・ミュージアムショップの展示・販売コーナー等の拡充整備、エントランス等サイン類のリニューアル
- ・博物館のロゴ・マークを作成
- ・博物館事業への協賛企業を募集
- ・歴代入館者400万人達成（平成19年6月）
- ・「企画展」と「特別展」の区分を廃止し、全て「企画展」に統一

(2) 学芸課

●自然担当

- ・企画展の開催：「挑戦者たちー動物の適応進化と性淘汰ー」
- ・自然資料修復事業
- ・石坂元貝類標本整理事業（2カ年）1年目

●人文担当

- ・企画展の開催：「因幡・伯耆の王者たち」
- ・中国河北省博物館との交流展の開催：「万里の長城写真展ー河北省の長城と歴史ー」
- ・歴史民俗常設展示室改善充実事業（6カ年）4年目
- ・藩政資料整備事業（14カ年）3年目
- ・館蔵考古資料保存修復事業（3カ年）3年目
- ・遠山正瑛資料収蔵調査事業（3カ年）2年目
- ・鳥取県の祭り・行事デジタル発信事業

●普及担当

- ・各種広報活動の実施
- ・移動博物館、移動美術館の募集及び調整
- ・学校教育支援事業の開催

- ・ニュースレター「MUSEUM PRESS 鳥取県立博物館ニュース」No.4, 5の発行

●山陰海岸学習館

- ・生態展示が可能な水槽の改修整備着手
- ・野外観察会や自然講座などの普及事業の開催

(3) 美術振興課

- ・企画展の開催：現代の表現 鳥取 vol.4「中ハシクシゲ展 ZEROs ー連鎖する記憶ー」
「石谷コレクション展」
開館35周年記念「ヴェネツィア絵画のきらめき ー栄光のルネサンスから華麗なる18世紀へー」
共同企画・郷土作家展「書の宇宙・陶の大地 柴山抱海・山本浩彩」
- ・2階近代美術展示室で子ども向け企画「Go!Go!アート探検隊」等、1階美術展示室で「近世絵画にみる描画技法」等、計10回の常設展示を開催
- ・絵画資料修復保存事業（5カ年）5年目：伊谷賢蔵の油彩画・素描計50件の修復・額装を終了
- ・第51回鳥取県美術展覧会の開催